

主要産地における令和元年産水稻の生育状況等について 第12報 (8月5日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和元年8月5日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体等公表資料の抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(生育)	<p>(全道) 生育は、やや早く推移している。(北海道農政 7月15日現在)</p> <p>(空知) 生育は進んでいる。(空知総合振興局 7月15日現在)</p> <p>(石狩) 生育は、平年に比べてやや遅れている。(石狩振興局 7月15日現在)</p> <p>(後志) 生育遅延日数は5日早い。(後志総合振興局 7月15日現在)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 7月15日現在)</p> <p>(日高) 7月の気温が低く、生育は平年並みとなった。(日高振興局 7月15日現在)</p> <p>(渡島) 幼穂形成期は平年よりやや早く過ぎた。一部地域では水不足の影響により生育は遅れている。</p> <p>(樺山) 生育は平年より早い。(樺山振興局 7月15日現在)</p> <p>(上川) 生育の遅延は、平年並に推移している。(上川総合振興局 7月15日現在)</p> <p>(留萌) 生育は早く進んでいる。(留萌振興局 7月15日現在)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年より遅れている。(オホーツク総合振興局 7月15日現在)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月3日～9月2日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>・アカヒゲホミドリカスミカ発生量は多い予報。 (北海道病害虫防除所 8月2日)</p>
青森	(生育)	<p>(7月31日現在の生育状況)</p> <p>・7月31日現在の水稻出穂状況は、県全体で3%となっている。(平年2%) (青森県 8月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月3日～9月2日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>
岩手	(生育)	<p>(7月25日現在)</p> <p>・農業研究センター(北上) 全品種とも、草丈は平年を下回っており、茎数、葉数は概ね平年並みで、葉色(SPAD値)は「ひとめぼれ」、「あきたこまち」では概ね平年並みで、「銀河のしずく」では平年を下回っている。また、「あきたこまち」、「銀河のしずく」とも7月24日(平年より1日遅い)に減数分裂期に達した。</p> <p>・東北農業研究所(軽米) 「いわてっこ」では、草丈、茎数は平年を下回っている。葉数は平年並みで、葉色(SPAD値)は平年を上回っている。 (岩手県農業研究センター 7月26日付)</p>	<p>・季節予報(同上)</p>
宮城	(生育)	<p>(8月1日現在)</p> <p>25.208ha(水稻作付見込面積の39.2%)で出穂が確認され、本年の出穂始期(県作付見込面積の5%で出穂)は、7月30日となり、平年より1日程度早まっている。 (宮城県 8月2日付)</p>	<p>・季節予報(同上)</p>
秋田	(生育)	<p>(北秋田) 7月15日現在の生育は、草丈が60.9cm(平年比96%)、茎数が562本/m²(同比97%)、葉数が11.5葉(同差+0.3葉)、葉色値が41.2(同比102%)となっている。多くのほ場で幼穂形成期を迎えており、幼穂長からみた生育は平年より早く進んでいる。(8月1日付)</p> <p>(秋田) 管内で出穂期を迎えている。(8月2日付)</p> <p>(平鹿) 管内の水稻は出穂期を迎えている。(8月2日付)</p> <p>(由利) 管内では水稻の出穂が始まっている。(8月2日付)</p> <p>(鹿角) 7月25日の水稻定植生育調査では、草丈が64.5cm(平年比88%)で短く、m²当たり茎数は557本(平年比107%)で多く、葉数は12.1葉(平年差-0.1葉)、葉色はSPAD値36.1(平年比96%)で平年より淡くなっている。(8月2日付)</p> <p>(雄勝) 出穂が始まっている。(8月2日付)</p> <p>(仙北) 7月25日現在の管内のあきたこまの生育状況は、草丈が68.4cm(平年比93%)、茎数は566本/m²(平年比120%)、葉数は12.5葉(平年差+0.5葉)、葉色値は36.6(平年差-1.4ポイント)となっている。(7月26日付)</p> <p>(山本) 7月25日現在の水稻定植調査ほ(管内5地区、品種、あきたこまち)における生育状況は、草丈70.8cm(平年比95%)、茎数649本/m²(同比114%)、葉数12.4葉(同差+0.1)、葉色34.3(同比88%)となっている。(7月26日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>・季節予報(同上)</p>
山形	(生育)	<p>(生育概況)</p> <p>・農業総合研究センター(山形市のりが丘)の「はえぬき」(5月20日移植)の出穂期は8月4日頃、水田農業試験場(鶴岡市藤島) (5月10日移植)の出穂期は8月1日頃と予想されており、いずれも概ね平年並の見込み。稲生品種は既に収穫期となっている。 (山形おおいしと際立つ1米づくりプロジェクト本部 7月30日)</p> <p>(東南村山) ・出穂予想「はえぬき 8月6日」「つや姫 8月9日」「雪若丸 8月5日」(村山総合支庁農業技術普及課 7月30日)</p> <p>(最上) ・7月19日現在、全般的に草丈が平年並からやや短く、茎数・葉色は概ね平年並。出穂期は平年並からやや遅れる見込みだが、一部の地域や品種では早まる傾向がある。生育は良好で、茎数が平年並みから多く、葉色は平年並みから濃い状況。出穂の時期は平年並の見込み。(最上総合支庁農業技術普及課 7月26日付)</p> <p>(鶴岡田川) (出穂期予測 7月19日幼穂調査、庄内普及課) ・「はえぬき」「雪若丸」では平年並、「つや姫」では3日程度早まる見込み。(庄内総合支庁農業技術普及課 7月25日付)</p> <p>(北村山) ・管内の出穂期は平坦部は平年並み、中山間・山間部は2日程度遅れる見込み。(北村山農業技術普及課 7月24日付)</p>	<p>・季節予報(同上)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生量はやや多い予想。 (山形県病害虫防除所 7月31日付)</p>
福島	(生育)	<p>(1) 作況ほ場および肥料・農業展示ほ場の生育状況(7月12日現在 郡山市) ・平坦部では全般的に、草丈は短く、茎数は多く、葉色はやや薄い状況。葉数はやや少なく、幼穂形成はほぼ平年並の見込み。湖南地区では、草丈は短く、茎数は多く、葉色は並～やや薄い状況。葉数はやや多く、7月12日時点で幼穂形成期となっている。</p> <p>(2) 福島県農業総合センター生育概況(7月12日現在 郡山市) ・作柄稲試験場(慣行栽培、5月15日移植)では7月9日現在、草丈は並～やや短く、茎数はやや多く、出葉は2日程度遅れ、葉色はやや濃く推移している。ひとめぼれ・天のつばは、幼穂形成始期となっている。</p> <p>(郡山市 7月18日)</p> <p>(7月2日現在、農業総合センターの生育調査) ・本部(郡山)では、平年より草丈は短く、茎数は多く、主穂葉数はやや少なく、葉色は濃くなっている。 ・会津地域研究所(会津坂下)では、草丈は平年並、茎数は平年より少なく、主穂葉数は少なく、葉色は濃くなっている。 ・浜地域研究所(相馬)では、平年より草丈は短く、茎数は多く、主穂葉数は平年並、葉色は品種間差がある状況。 ・コシヒカリの主穂葉からみた生育は、本部と会津地域研究所では平年より最大3日の遅れ、浜地域研究所では1日早く進んでいる。今後の天候によるが、幼穂形成始期は各地域とも平年並と見込まれている。 (福島県 7月5日付)</p>	<p>・季節予報(同上)</p>

	生育状況等	
茨城	<p>(水戸市 5月1日移植 7月19日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅速) あきたこまちは5日程度遅い、コシヒカリ7日程度遅い、ふくまるは5日程度遅い。 ・(生育ステージ) あきたこまちは出穂期、コシヒカリは減数分裂期、ふくまるは出穂期。 <p>(水戸市 5月10日移植 7月19日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅速) コシヒカリは5日程度遅い。 ・(生育ステージ) コシヒカリは減数分裂期。 (茨城県農業総合センター 7月22日付) <p>(生育)</p> <p>(龍ヶ崎市 4月26日移植 7月16日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅速) あきたこまちは5日遅い、コシヒカリは9日遅い、ふくまるは9日遅い。 ・(生育ステージ) あきたこまちは出穂期、コシヒカリは減数分裂期、ふくまるは穂ばらみ期。 <p>(龍ヶ崎市 5月7日移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅速) あきたこまちは9日遅い、コシヒカリは8日遅い。 ・(生育ステージ) あきたこまちは穂ばらみ期、コシヒカリは幼穂形成期。 (茨城県農業総合センター 7月22日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月3日～9月2日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>
栃木	<p>(7月19日調査結果) (全体の生育) (11か所平均：平年値\bar{x}→\bar{y}、及び生育不良地点除く)</p> <p>早稲栽培の出穂は平年並～2日程度早い見込み。普通稲栽培の生育はやや遅れている。</p> <p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早稲栽培 (品種：コシヒカリ) 草丈は短く (平年比91%)、茎数はバラツキが大きい (平年比81～152%)。葉色はやや濃い (-0.3) ため、生育診断値 (葉色×茎数) はやや小さい (96%)。葉齢は-0.2葉少なく、幼穂長は5.5cmで平年より4.4cm短い。 ・普通稲栽培 (あさひの夢) 草丈は48.0cmで平年並 (79%)、茎数は410本/m²で平年より少ない (84%)。葉齢は9.2で平年より-1.5葉少ない。葉色は4.6で0.2濃い。生育診断値 (葉色×茎数) は1.946で平年より小さい (83%)。 (栃木県 7月23日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節予報 (同上) ・いもち病 (穂いもち) の発生量はやや多い予想 (栃木県農業指導センター 7月19日)
千葉	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月も低温、寡照が続いたため、全品種とも生育が遅れ、平年より出穂が3～4日程度遅くなっている。成熟期は4月20日植えの「ふさおとめ」が8月14日頃から、「ふさこがね」は8月19日頃から、「コシヒカリ」は8月26日頃からと予測される。また「コシヒカリ」は、出穂がバラつく場合があるので、成熟期の判定には注意が必要。 (千葉県 7月25日付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節予報 (同上) ・いもち病 (穂いもち) の発生量はやや多い予想。 (千葉県農林総合研究センター 7月12日付)
新潟	<p>(コシヒカリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標値 (生育のめやす) に比べ、草丈は「並」、茎数「やや多い」、葉色は「並」の状況。 出穂期は、平年に比べて2日早まる見込み。 <p>(7月30日現在の生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市に設置した調査ほ場では、つきあかりの穂数は「少ない」、ゆきん子舞の茎数は「やや多い」、こしいぶきの茎数は「並」の状況。 ・こしいぶきの出穂期 (県平均) は、平年に比べて2日早い7月25日。 (新潟県 7月31日付) <p>(佐渡) (コシヒカリ 7月29日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茎数は目標値より多い。生育が早いコシヒカリのほ場では、出穂し始めている。 ・コシヒカリの出穂期は、5月10日植えで8月6日の見込み。 (佐渡農業普及指導センター 7月30日付) <p>(岩船) (コシヒカリ 7月30日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈、茎、茎数：並～やや多、葉色：並、出穂期予想：1日程度早い。(村上農業普及指導センター 7月30日付) <p>(上越) (コシヒカリ 7月30日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈「やや長い」、茎数「やや多い」、葉色「並」、葉色「やや濃い」。 ・出穂期は高温の影響で、平年より3日程度早い見込み。(上越農業普及指導センター 7月30日付) <p>(南魚沼) (7月30日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリの出穂期は平年より1～2日程度早まる見込み。(南魚沼農業普及指導センター 7月31日付) 	<p>【高温に関する早期天候情報 北陸地方】 8月7日頃からかなりの高温 (+2.4℃以上) とする可能性。 (気象庁新潟地方気象台 8月1日14時30分)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月3日～9月2日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の斑点米カメシジメ類の発生量はやや多い予想。 (新潟県病害虫防除所 7月29日)
富山	<p>(本田での生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・てんたかく 5月9日移植の「てんたかく」の出穂期は、平年より1日早い7月20日頃と見込まれる。成熟期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より1日早い8月25日頃と見込まれる。出穂期は7月20日頃になると見込まれる。 ・コシヒカリ 平年に比べて、草丈、葉色は並み、茎数はやや多く、葉齢は0.2葉少なくなっている。幼穂形成期は、平年より2日早い7月10日となった。出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より2日早い7月31日頃と見込まれる。 ・てんこもり 平年に比べて、草丈、葉齢、葉色は並み、茎数は多くなっている。幼穂形成期は、平年より4日早い7月10日となった。出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より4日早い8月1日頃と見込まれる。 ・富富富 前年に比べて、草丈、葉齢、葉色は並み、茎数はやや多くなっている。幼穂形成期は、前年より1日早い7月12日となった。今後、気温が平年並みに推移すると、出穂期は、前年並みの8月2日頃と見込まれる。 (富山県 農業技術課広域普及指導センター 7月17日付) 	<p>【高温に関する早期天候情報 北陸地方】(同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節予報 (同上) ・8月の穂いもち、斑点米カメシジメ類の発生量はやや多い予想。 (石川県農林総合研究センター 8月1日)
石川	<p>(本田の生育 7月29日調査)</p> <p>(出穂期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリの出穂期は、加賀地域では7月25日～30日と平年に比べ2～4日早い見込み。 ・能登地域では7月29日～8月3日と平年に比べ4～8日早い見込み。 <ul style="list-style-type: none"> ・ひゃくまん穀の出穂期は、加賀地域で8月2日～10日と近年に比べ1～4日遅い見込み、能登地域では8月4日～7日と近年に比べ3～5日遅い見込み。 (石川県農林総合研究センター 7月30日付) 	<p>【高温に関する早期天候情報 北陸地方】(同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節予報 (同上) ・8月の穂いもち、斑点米カメシジメ類の発生量はやや多い予想。 (石川県農林総合研究センター 8月1日)
福井	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植のコシヒカリは早いところで7月10日前後に幼穂形成期を迎えている。 ・移植のハナエチゼンが出穂期を迎えようとしている。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月11日付) 	<p>【高温に関する早期天候情報 北陸地方】(同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節予報 (同上)
長野	<p>(農業試験場八重森圃場 (標高340m))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植後40日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」とともに葉数、茎数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。前年の同時期の生育量とほぼ同等である。幼穂形成期は平年よりやや遅れた。 (長野県農業試験場 7月19日現在) <p>(標高1017m原村の原村試験地における水稲生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植後50日調査では、7月上旬の低温の影響から前回調査時と比べてやや葉数進展、草丈の伸びが遅れた。 ・茎数はやや回復したものの平年より少ない。幼穂形成期はいずれの品種も低温、低日照により遅れたと考えられる。 (長野県農業試験場 7月25日現在) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月3日～9月2日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向う1か月の間の穂いもちの発生量は平年並～やや多い予想。 (長野県病害虫防除所 7月17日)

	生育状況等	
滋賀	<p>(農業技術振興センター 水稲作況調査 (7月20日時点))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈は「みずかがみ」「コシヒカリ」とも平年よりやや短い。 ・莖数は平年に比べ「みずかがみ」は14%、「コシヒカリ」は12%少ない。 ・葉色は平年よりやや濃く推移している。 ・「みずかがみ」の出穂期は7月23日で平年より1日遅かった。 <p>(滋賀県 7月26日付)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報 近畿地方】 8月7日頃からかなりの高温（+1.6℃以上）となる可能性。 (大阪管区気象台 8月1日14時30分)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月3日～9月2日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>
兵庫	<p>(6月25日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県北 葉齢の進展は平年よりやや早い、草丈はやや短く、莖数は少ない。 遅植えでは葉齢の進展はやや遅く、草丈、莖数は平年並である。 ・県南 葉齢の進展は平年よりやや早く、草丈は平年並からやや低い。莖数は多い。 <p>(兵庫県 7月4日付)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報 近畿地方】(同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節予報 (同上) ・向う1か月間のいもち病の発生量はやや多い予想。 (兵庫県病害虫防除所 7月22日)
岡山		<p>【高温に関する早期天候情報 中国地方】 8月7日頃からかなりの高温（+1.8℃以上）となる可能性。 (気象庁広島地方気象台 8月1日14時30分)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月3日～9月2日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月のカメムシ類の発生量はやや多い予想。 (岡山県病害虫防除所 7月31日付)
広島		<p>【高温に関する早期天候情報 中国地方】(同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節予報 (同上)
愛媛	<ul style="list-style-type: none"> ・本年の早期水稲の出穂時期は平年並。成熟期については平年並かやや早まる可能性がある。 (平年の成熟期：4月20日移植あきたこまち 8月10日頃、コシヒカリ8月15～16日頃)。 <p>(愛媛県 8月1日付)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報 四国地方】 8月7日頃からかなりの高温（+1.6℃以上）となる可能性。 (気象庁高松地方気象台 8月1日14時30分)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月3日～9月2日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>
高知	<p>(7月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培の作柄はやや不良が見込まれる。(農林水産省 7月26日付) <p>(7月4日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期稲 出穂期は、4月5日植え「南国そだち」では平年並み、4月5日植えの「コシヒカリ」では平年よりやや早く、 4月15日植え「コシヒカリ」では平年並みの時期。4月5日植え「よさ恋美人」は同時期移植の「コシヒカリ」より6日早く 出穂期を迎えた。 ・普通稲 草丈は平年並み、莖数は平年値に比べやや少ないが、葉齢は平年並みで生育している。 <p>(高知県農業技術センター 7月12日付)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報 四国地方】(同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節予報 (同上) ・水稲(普通稲)のいもち病(葉いもち)の発生量は、 やや多(中西部)の予報 (高知県病害虫防除所 7月4日) ・早期稲の出穂期のすくい取り調査では、1ほ場あたりの 捕捉頭数は平年より多く、特に県中部では平年の約 4倍、東部で約2倍と、平年を大きく上回っている。 (高知県病害虫防除所 7月16日)
福岡	<p>(農林業総合試験場における生育概況 7月25日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈 6月10日植「夢つくし」では平年より9%短く、その他の品種は3～7%長かった。 ・莖数 筑後分場の「ヒノヒカリ」では平年より5%多かったが、その他の品種は、2～19%少なかった。 ・主穂莖数 「夢つくし」では、平年より0.4 葉少なく、生育は遅れているが、その他の品種は平年より0.2～0.4 葉多く、 生育はやや進んでいる。 <p>(福岡県農林総合試験場 7月25日付)</p>	<p>【高温に関する早期天候情報 九州北部地方】 8月7日頃からかなりの高温（+1.6℃以上）となる可能性。 (福岡管区気象台 8月1日14時30分)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月3日～9月2日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>

生育状況等	
熊 本	<p>【高温に関する早期天候情報 九州北部地方】(同上)</p> <p>・季節予報 (同上)</p> <p>・早植え水稻の葉いもちの発生量はやや多の予報。 (熊本県病害虫防除所 7月2日付)</p>
宮 崎	<p>(7月15日現在)</p> <p>・早期栽培の作柄はやや不良が見込まれる。(農林水産省 7月26日付)</p> <p>(作物の生育状況) (7月中旬)</p> <p>・普通期水稻は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長 7月26日付)</p> <p>(生育・作柄)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月3日~9月2日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月~10月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>
鹿 児 島	<p>(7月15日現在)</p> <p>(作柄)</p> <p>・早期栽培の作柄は平年並が見込まれる。(農林水産省 7月26日付)</p> <p>・季節予報 (同上)</p>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：前期からの更新情報は未定です。
注3：令和元年8月5日12時時点での取り纏め。

参考・引用資料:

令和元年産水稲の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(7月15日現在)(農林水産省 7月26日)、

農作物の生育状況 7月15日現在(北海道 7月18日)、農作物生育状況 7月15日現在(北海道空知総合振興局 7月18日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道後志総合振興局 7月18日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道石狩振興局 7月18日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道胆振総合振興局 7月18日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道日高振興局 7月18日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道渡島総合振興局 7月18日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道檜山振興局 7月18日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道上川総合振興局 7月18日)、農作物生育状況調査の概要 7月15日現在(北海道留萌振興局 7月18日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 7月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 7月18日)、
7月31日現在水稲出穂状況(青森県 8月1日)、

令和元年度水稲生育定期調査結果No.5(7月25日現在)(岩手県農業研究センター 7月26日)、
令和元年産水稲の出穂状況について(8月1日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 8月2日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 8月2日)、
米づくり技術情報No.12(やまがたおいしさを際立つ!米づくりプロジェクト本部 7月30日)、
おいしい米づくり情報第8号(村山総合支庁農業技術普及課 7月30日)、
おいしい米づくり技術情報No.11(庄内総合支庁農業技術普及課 7月25日)、
稲作だより第9号(最上総合支庁農業技術普及課 7月26日)、
稲作だより第9号(北村山農業技術普及課 7月24日)、
主要な農作物の生育情報令和元年度第4号(福島県農林水産部 7月5日現在)、
「こおりやまの米」通信(郡山市 7月18日)、
農研連龍ヶ崎(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月22日)、
農研連水戸(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月22日)、
令和元(2019)年度水稲生育診断予測事業速報No.5(栃木県 7月22日)、
水稲の生育状況と当面の対策第6報(千葉県農林水産部 7月25日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第8号)(新潟県農林水産部 7月31日)、
稲作生育速報No.8(佐渡農業普及指導センター 7月30日)、
コンヒカリ・こしいぶき生育速報(上越農業普及指導センター 7月30日)、
岩船米生育速報(7月30日現在)(村上農業普及指導センター)、
南魚沼産コンヒカリ生育速報No.6(南魚沼農業改良普及センター 7月31日)、
TACS情報第8号(富山県農業技術課 7月17日)、
令和元年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-9号)(石川県農林総合研究センター 7月29日調査)、
稲作情報No.11(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月11日)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(平成31年)(長野県農業試験場 7月19日現在)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(平成31年)(長野県農業試験場 7月24日現在)、
令和元年度水稲生育診断情報No.4(滋賀県農業技術振興センター 7月26日)、
兵庫県農業気象技術情報第2号(7月情報)(兵庫県 7月4日)、
気象情報に基づく技術対策(作物 8月)(愛媛県 8月1日)、
水稲の生育概況(令和元年度)(高知県農業技術センター 7月12日)、
福岡県米麦大豆生産改善速報第3号(福岡県ほか 7月25日)、
平成31年度病害虫発生予報第4号について(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長 7月26日)、

病害虫発生予察情報第14号・注意報第7号(北海道病害虫防除所 8月2日)、
令和元年度農作物有害動物発生予察情報注意報第5号(山形県病害虫防除所 7月31日)、
令和元(2019)年度病害虫発生予報第4号(栃木県農業環境指導センター 7月19日)、
令和元年度病害虫発生予報第4号(千葉県農林総合研究所 7月10日)、
令和元年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第6号(新潟県病害虫防除所 7月29日)、
令和元年度病害虫発生予報第5号(石川県農林総合研究センター 8月1日)、
病害虫発生予報第4号(長野県病害虫防除所 7月17日)、
令和元年度病害虫発生予報第3号(兵庫県病害虫防除所 7月22日)、
令和元年度病害虫発生予報第5号(岡山県 7月31日)、
令和元年度病害虫発生予察注意報第1号(高知県病害虫防除所 7月16日)、
令和元年度病害虫発生予察情報第4号(7月予報)(熊本県病害虫防除所 7月2日)、

北海道地方向こう1か月の天候の見通し(8月1日札幌管区気象台)、東北地方向こう1か月の天候の見通し(8月1日仙台管区気象台)、関東甲信地方向こう1か月の天候の見通し(8月1日気象庁)、
北陸地方向こう1か月の天候の見通し(8月1日新潟地方気象台)、近畿地方向こう1か月の天候の見通し(8月1日大阪管区気象台)、中国地方向こう1か月の天候の見通し(8月1日広島地方気象台)、
四国地方向こう1か月の天候の見通し(8月1日高松地方気象台)、九州北部地方向こう1か月の天候の見通し(8月1日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方向こう1か月の天候の見通し(8月1日鹿児島地方気象台)、

北海道地方向こう3か月の天候の見通し(7月24日札幌管区気象台)、東北地方向こう3か月の天候の見通し(7月24日仙台管区気象台)、関東甲信地方向こう3か月の天候の見通し(7月24日気象庁)、
北陸地方向こう3か月の天候の見通し(7月24日新潟地方気象台)、近畿地方向こう3か月の天候の見通し(7月24日大阪管区気象台)、中国地方向こう3か月の天候の見通し(7月24日広島地方気象台)、
四国地方向こう3か月の天候の見通し(7月24日高松地方気象台)、九州北部地方向こう3か月の天候の見通し(7月24日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方向こう3か月の天候の見通し(7月24日鹿児島地方気象台)、

高温に関する早期天候情報(気象庁 8月1日)、